

連携室だより

Vol.19

登録医療機関(4月現在)150施設 167名の
先生方にご登録いただきました。

発行：宮城社会保険病院
地域医療連携室

2012年4月

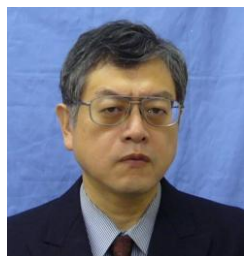
ご挨拶



院長 いしい もとやす
石井 元康

昨年は震災後で大変な新年度の始まりでした。当院では、被害のひどかった医療機関からの患者受け入れや医療スタッフの一時的異動、そして津波被害のひどかった地域では、5月のゴールデンウィークは全国からボランティアが集まって、がれき整理を手伝っていたことが思い出されます。その後、地域住民の方々の頑張りもあって地域復興は進んできております。当院でも去年の3月と4月は紹介率と逆紹介率がともに大きく落ち込みましたが、昨年末にはほぼ以前の数値に戻りました。大変な時期にも関わらず先生方のご協力を頂き病院機能が維持できたことを、新年度を迎えるにあたってあらためて感謝申し上げます。

本年度は落ち着いて新年度を迎えられることを期待しておりましたが、予想に反して大幅な人事異動で始まりました。これも震災の影響かもしれません。被災地の医師不足は深刻であり、地域医療を守るために多くの医師の異動がおこなわれました。当院は幸い常勤医師の確保ができ、従来の診療体制を維持する形で新年度をスタートすることができました。副院長（地域医療連携室室長）と事務局長も変わり、病院全体が新たな気持ちでスタートしましたが、はじめは色々不慣れな点がありご迷惑をおかけすることもあろうかと思えます。診療内容も少し変わるかも知れません。それでも、これを機会により良い診療を患者さんに提供するために、これまで以上に努力する所存です。新しいスタッフをよろしく願い申し上げますとともに、これまで通りの病院へのご指導、ご鞭撻をよろしく願い申し上げます。



副院長 あきの よしひさ
秋野 能久

厳しかった冬もようやく終わり、桜の季節がやってまいりました。皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、前任の丹野弘晃先生が平成24年4月1日より十和田市立中央病院院長にご栄転するに伴い私こと、秋野能久が宮城社会保険病院副院長に就任致しました。これもひとえに皆様方のご愛顧の賜物と存じます。これよりも一層の精進に務めますので、ますますのご指導、ご鞭撻の程よろしく願い致します。

次に、去る4月10日に予定しておりました第189回広南臨床研究会（二火会）は、講師に予定しておりました内山哲之先生が急逝したため、中止とさせて頂きました。内山先生の御尊父は名取医師会の会員でもあります。ご冥福をお祈りいたします。

又、春は異動の季節でもあり当院他の科でも異動がありました。

まず、整形外科の田代尚久先生が若林区に開業のためご退職し、代わりに公立黒川病院より齋藤隆幸先生が着任いたしました。齋藤先生は、整形外科専門医であると共にリウマチ専門医でもありこれからの活躍が期待されます。又、外科では丹野副院長、三好永展医師退任の後を埋めるべく遠藤公人医師が仙台赤十字病院より、北村 洋医師が東北大学病院より着任いたしました。消化器疾患、乳腺疾患を専門とする先生です。外科は総勢5名の勢力を維持する事が出来ました。

以上のように、人員の充足は十分に行われ以前と同じ体制を組むことが出来ましたがいずれも新人が診療に、運営にと携わる事になります。至らない点、不十分な点がございましたらご指導ご鞭撻の程何卒宜しく願い申し上げます。

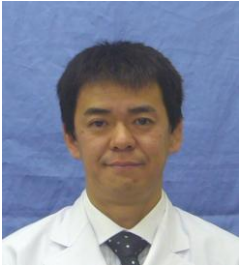


事務局長 いしい ひろとし
石井 洋寿

日頃より、当院のご愛顧をいただき誠にありがとうございます。

4月1日より当職を担当させていただくことになり、地域の皆様から愛される病院を目指して頑張りたいと考えております。これまでの企業(営業)や医療法人(事務長)で勤務したその経験を活かして皆様のお役にたてる情報や企画などを発信してまいります。引き続き宮城社会保険病院をご愛顧いただきたくどうぞよろしくお願い申し上げます。

新任医師紹介



えんどう こうじん
外科 遠藤 公人

4月より仙台赤十字病院から異動して参りました。消化器疾患を中心に、患者さんの理解が得られた治療を、安全確実に行うことを常に意識して診療したいと思います。近隣の先生方と密接に連携をとりながら、ご相談いただければ出来る限り対応させていただきますので宜しくお願い申し上げます。

資格・免許等：外科学会指導医・専門医、消化器外科学会指導医・専門医、
消化器病学会指導医・専門医、臨床外科学会評議員、がん治療認定医・暫定教育医、
検診マンモグラム読影医、臨床研修指導医



きたむら よう
外科 北村 洋

2012年4月より勤務しております北村です。地域の先生方にご指導いただきつつ、患者の皆様安心していただけるような治療が提供できるように精一杯頑張っていきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

資格・免許等：日本外科学会、消化器外科学会、日本消化器病学会、肝胆膵外科学会、日本臓器学会、
癌治療学会、日本臨床外科学会、日本救急医学会、日本腹部救急医学会



さいとう たかふみ
整形外科 齋藤隆幸

私は仙台出身です。昭和59年に、東北大学を卒業後、東北大学整形外科に入局し、山形県の米沢市立病院、国立鳴子病院・およびその後身（合計18年半居りました）、山形市の篠田総合病院、公立黒川病院を経て、今年4月より当院整形外科にお世話になっております。鳴子では、主に関節リウマチの診療に携わってまいりました。篠田総合病院では、高齢者の骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折に重点を置いて仕事を致しておりました。これまで1人医長の経験が長く、当院でも、再び1人医長となりました。1人ということもあり、なかなか大変なこともあるかとは存じますが、微力ながらも、地域の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

資格・免許等：日本整形外科学会専門医、同脊椎骨髄病医 日本リウマチ学会専門医
日本リウマチ財団登録医

CT・MRI 検査受託について

造影剤を使用しないCT・MRI検査を午後にもお受けしております。胸部レントゲン異常陰影の精査、脳血管障害を疑われた時、外傷の精査などにご利用頂ければ幸いです。検査依頼書に必要事項をご記入頂き、連携室にFAXをお願い致します。折返し連携室より予約票をFAXさせていただきます。

【受付時間】 月～金曜日 午前8時30分から午後5時まで

地域医療連携室 [直通 FAX 022-306-1741](tel:022-306-1741)

患者様は当日撮影のみ行い、フィルムを持参し先生の元へお帰り頂きます。
尚、当院医師の診察・診断は致しません。
(造影剤を使用する場合は、これまで同様午前中に医師の診察を受けて頂きます。)



新連携室スタッフ紹介

4月より外来へ異動となり、新たに地域医療連携室のスタッフとなりました。地域の先生方、患者様に信頼される医療連携を目標に頑張ります。宜しくお願い致します。

外来科長兼務 小野 祐美

発行：宮城社会保険病院

仙台市太白区中田町字前沖143番

地域医療連携室 (直通) TEL022-306-1740 FAX022-306-1741

(代表) TEL022-306-1711 FAX022-306-1712

ホームページ <http://www.miyagi-shaho.jp/>